

Reddy 汎用 OIL CATCH TANK

取扱説明書

この度は、Reddy 汎用 OIL CATCH TANK をご購入いただき誠にありがとうございます。
この取扱説明書をよく読んで末永くご使用下さる様お願い致します。
また、本書は製品をご使用中は大切に保管して下さい。

取扱説明書について

重要

- この製品を装着する前には、取扱説明書をよく読み内容を理解した上で正しくお使い下さい。
- この製品の使用期間中は、取扱説明書を大切に保管して下さい。
- この取扱説明書に記載されている事項を守らなかった事により発生した事故・損害等について、当社は一切その責任を負うことが出来ません。
- この取扱説明書では、下記の表記を用いています。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをされると、生命への危機又は、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して取扱いをされると、人が重傷を負う可能性が想定される内容及び、物的障害の発生が想定される内容を示しています。

装着の前に

重要

- この商品は汎用品です、車種別に専用設計・開発を行っておりません。取り付け者が安全かつ異常の無い様、責任を持って判断して下さい。又、オイルキャッチタンク以外の目的で使用しないで下さい。
- この製品の取り付けは、必ず経験と技術の有る専門ショップで行って下さい。
- この商品は汎用品です、足りないホース等は別途、御購入して下さい。
- 外気温が氷点下の状況は、水分凍結によりブローパイガスが抜けず、タービンプロー・エンジン破損の原因に成りますので使用しないで下さい。
- 製品装着前に、必ずパーツリストによりパーツ内容を確認して下さい。
- この取扱説明書にあるパーツリスト以外の部品を使用した為に発生した不具合・事故・破損等について、当社は一切責任を負いません。又、キャッチタンク本体の改造は行なわないで下さい。
- サーキット競技に使用の際は、参加競技主催者に競技規則を御確認して下さい。
- サーキット競技使用時は、キャッチタンク開放側に栓をしないで下さい。ブローパイガスが抜けず、タービンプロー・エンジン破損の原因に成ります
- 一般公道で使用の際は、ブローパイガスを大気開放しないで、エアークリーナー・サクションに戻して下さい。
- 品質には、万全を期しておりますが、キャッチタンク内にバフ等の研磨剤等が付着している可能性が稀に在ります、取り付けの際には事前に洗浄・点検を行って下さい。

作業時の注意



注意 純正部品の取外し作業はメーカーの発行する整備要領書を参照し、作業を行って下さい。



注意 解箇所には必ず合わせマークを付け、異物混入がないよう処置して下さい。

パーツリスト

1.	キャッチタンク	× 1
2.	ホース 1 M (9 φ or 1 5 φ or 1 9 φ)	× 1
3.	汎用ステー	× 1
4.	ホースバンド	× 2
5.	キャップユニオン	× 1
6.	タイラップ 2 0 0 mm	× 2
7.	6 × 1 5 組ボルト	× 3
8.	L 型ホースユニオン	× 2
9.	レベルゲージ用エルボ	× 2
1 0.	レベルゲージ用ホース 9 0 mm	× 1

取り付け手順

(1) キャッチタンクにレベルゲージ用エルボとホースユニオンを取付け、レベルゲージ用エルボにレベルゲージ用ホースを差込んで下さい。

※ホースユニオンネジ部にはシールテープを巻きつけて下さい。

(2) 汎用ステー・組ボルトを使用し、安全な場所にキャッチタンクを取付けて下さい。

(3) エンジンタペットカバーのブローバイホースを外して下さい。

(4) ※サーキット使用時のみ (参加競技主催者に競技規則を御確認して下さい。)

外したブローバイホースにキャップユニオンを取付け、邪魔にならない安全な場所にタイラップで固定して下さい。

エンジンタペットカバーのホース口と、キャッチタンクの L 型ホースユニオンを KIT 内ホースで取付け、ホースバンドで固定して下さい。

▲ この時、キャッチタンク開放側に栓をししないで下さい。ブローバイガスが抜けず、タービンブロー・エンジン破損の原因になります。

(5) ※一般公道使用時

エンジンタペットカバーのホース口と、キャッチタンクのホースユニオンを KIT 内ホースで取付け、ホースバンドで固定して下さい。外したブローバイホースの間に、ブローバイガスがキャッチタンクを通過する様な配管にして下さい。

▲ホースの長さが足りない時は、別売ホース等を御購入して下さい。

(6) ホースが他の部分と接触しない様、タイラップで固定して下さい。

※付属のホースがつぶれてしまっている場合、6 0℃のお湯に浸し変形を直してから取付けて下さい。

※ゴム系の部品は消耗品です。劣化する前に交換して下さい。

取付け例



注意

取り付け終了後、キャッチタンクが他の部分と接触しないか・ホースに無理なテンションが掛かっていないかの安全確認し、エンジン振動・回転部分・熱の影響を受けないかを点検してください。安全確認を怠ると、車両火災・車両破損の原因になります。



注意

ホースが高温部分に有ると、劣化が早く進み、ホースからオイルが漏れ危険です、高温になら無い様に取り回し、劣化する前ホース交換を行って下さい。※別売

以上で取り付け作業は終了です。

装着後の注意

重要



注意

オイルキャッチタンクにたまったオイルは、定期的に抜いて下さい。
オイルを抜かずタンクが一杯に成ると、ブローバイガスが抜けず、タービンブローやエンジン破損を起す原因と成ります、必ず定期的に点検し、たまったオイルを抜いて下さい。



警告

定期点検は、自動車の安全性をはかる上で必要不可欠です。日常の点検はもとより「運行前点検」や「定期点検」は必ず実施して下さい。

品質には万全を期しておりますが、注意事項を怠った為に発生した不具合・事故・破損等については、当社は一切責任を負いません。

株式会社 トラスト